

製品名: アンジオテンシン変換酵素 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85285**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 151 kDa; Observed MW: 180 kDa

抗原情報

遺伝子名	Angiotensin Converting Enzyme 1
別名	ACE; Dipeptidyl carboxypeptidase I; Kininase II
遺伝子 ID	11421.0
SwissProt ID	P09470
免疫原	マウスアンジオテンシン変換酵素 1 の組み換えタンパク質

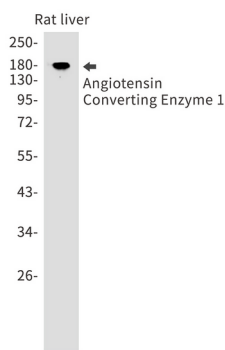
背景

末端 His-Leu を遊離させることでアンジオテンシン I をアンジオテンシン II に変換し、アンジオテンシンの血管収縮作用を増強しま

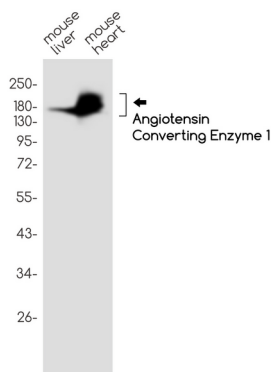
す。また、強力な血管拡張薬であるブラジキニンを不活性化することもできます。さらに、GPI 部位のマンノース結合を切断することで GPI アンカー型タンパク質を膜から遊離させるグリコシダーゼ活性も有します。この GPI アーゼ活性は、精子の卵子結合能に極めて重要であると考えられています。

研究分野

画像データ



アンジオテンシン変換酵素 1 抗体を使用したラット肝臓溶解物中のアンジオテンシン変換酵素 1 のウェスタン プロット分析。



アンジオテンシン変換酵素 1 抗体を使用した、マウス肝臓、マウス心臓溶解物中のアンジオテンシン変換酵素 1 のウェスタン プロット分析。